

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3316 URL <http://www.tcs-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 真一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,342	9.1	152	△5.8	154	△7.1	79	△32.6
23年3月期第3四半期	5,814	2.2	162	189.3	165	175.1	117	146.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 82百万円(△30.9%) 23年3月期第3四半期 119百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,311.11	—
23年3月期第3四半期	9,361.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,515	1,597	45.4
23年3月期	3,889	1,546	39.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3半期 1,597百万円 23年3月期 1,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,780	△1.3	215	△15.4	215	△16.6	123	△19.0	9,761.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	12,600株	23年3月期	12,600株
24年3月期3Q	一株	23年3月期	一株
24年3月期3Q	12,600株	23年3月期3Q	12,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から復興に向かい、設備投資に一部回復の兆しが見られるものの、欧州諸国の金融不安や米国経済の景気減速懸念に伴う円高基調を背景に、景気の先行き不透明感は強まる状況で推移いたしました。

当社グループの属するIT業界におきましては、ITベンダー間の激しい競争によるIT商品の低価格化が進む中、顧客のIT機器に対する災害対策によるIT投資需要が増加しているものの、対策後の投資案件が不透明なことから予断を許さない状況で推移してまいりました。また、人材派遣業界におきましては、雇用状況の悪化を反映し、派遣契約の継続契約・新規契約が難しい状況となっており、企業環境は依然厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは「情報化ライフサイクルサポーター」として、技術の優位性、業務の卓越性、顧客対応力を強化し、顧客にとってのベストソリューションを提供することにより、より付加価値の高いビジネスを展開し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大を軸に、受注高の確保とサービスビジネスの拡大を目指した営業活動を行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,342百万円(前年同期比528百万円増、9.1%増)、営業利益152百万円(前年同期比9百万円減、5.8%減)、経常利益154百万円(前年同期比11百万円減、7.1%減)、四半期純利益79百万円(前年同期比38百万円減、32.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

① 情報システム関連事業

情報システム関連事業は、競合先との激しい競争状態によるIT商品の低価格化が進む中、第1四半期は顧客のIT機器に対する災害対策需要により、ハードウェアビジネスを中心に受注が増加いたしました。7月以降は災害対策需要の落ち着きとともにIT投資に対する慎重さが戻る中、第3四半期はパソコンを中心とした受注増により、売上高は5,286百万円(前年同期比642百万円増、13.8%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、本社移転に伴う費用30百万円が発生したものの、147百万円(前年同期比4百万円増、2.8%増)となりました。

② 人材派遣事業

人材派遣事業は、派遣契約の継続契約・新規契約が難しい状況で推移する中、派遣スタッフの増加を目指す営業活動を行うとともに、経費削減努力を行ってまいりましたが、売上高は1,056百万円(前年同期比114百万円減、9.8%減)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比13百万円減、72.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ374百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が101百万円増加、商品が231百万円増加、有形固定資産が62百万円増加、受取手形及び売掛金が832百万円減少したことによるものであります。負債については1,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ425百万円減少しております。これは、主に買掛金が354百万円減少、未払法人税等が92百万円減少したことによるものであります。純資産については1,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加しております。これは、主に四半期純利益の計上が79百万円ありましたが、配当による減少31百万円があったことにより、利益剰余金が48百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

企業環境は依然先行き不透明感が強い状況で推移しており、当社グループへの影響が見通し難い状況であることから、現段階では、平成23年5月13日発表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,594	658,670
受取手形及び売掛金	2,474,166	1,641,845
商品	154,033	385,177
仕掛品	8,631	15,995
貯蔵品	316	342
その他	287,384	282,800
貸倒引当金	△549	△227
流動資産合計	3,481,577	2,984,605
固定資産		
有形固定資産	58,819	121,702
無形固定資産		
ソフトウェア	73,047	89,651
その他	160	12,930
無形固定資産合計	73,207	102,582
投資その他の資産		
投資有価証券	38,715	43,789
その他	293,627	319,588
貸倒引当金	△56,140	△56,536
投資その他の資産合計	276,203	306,841
固定資産合計	408,229	531,125
資産合計	3,889,807	3,515,731
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,350,240	995,586
未払費用	180,409	179,784
未払法人税等	95,788	2,887
前受金	273,763	341,756
賞与引当金	92,100	45,510
その他	62,424	57,657
流動負債合計	2,054,726	1,623,183
固定負債		
退職給付引当金	270,966	248,437
役員退職慰労引当金	17,840	—
その他	—	46,669
固定負債合計	288,806	295,106
負債合計	2,343,533	1,918,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	232,665	280,685
株主資本合計	1,547,645	1,595,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,371	1,777
その他の包括利益累計額合計	△1,371	1,777
純資産合計	1,546,273	1,597,442
負債純資産合計	3,889,807	3,515,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,814,903	6,342,995
売上原価	4,969,268	5,485,428
売上総利益	845,634	857,566
販売費及び一般管理費	683,326	704,594
営業利益	162,308	152,972
営業外収益		
受取利息	200	265
受取配当金	2,374	1,531
保険配当金	808	926
その他	336	108
営業外収益合計	3,720	2,832
営業外費用		
支払利息	103	1,721
営業外費用合計	103	1,721
経常利益	165,925	154,083
特別利益		
貸倒引当金戻入額	517	—
投資有価証券売却益	26,112	—
特別利益合計	26,629	—
特別損失		
固定資産除却損	564	7,335
特別損失合計	564	7,335
税金等調整前四半期純利益	191,990	146,747
法人税、住民税及び事業税	65,576	2,702
法人税等調整額	8,464	64,525
法人税等合計	74,041	67,227
少数株主損益調整前四半期純利益	117,949	79,520
四半期純利益	117,949	79,520

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,949	79,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,668	3,148
その他の包括利益合計	1,668	3,148
四半期包括利益	119,618	82,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,618	82,668
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,643,502	1,171,400	5,814,903	—	5,814,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,356	18,237	21,593	△21,593	—
計	4,646,858	1,189,638	5,836,496	△21,593	5,814,903
セグメント利益	143,930	18,377	162,308	—	162,308

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,286,014	1,056,980	6,342,995	—	6,342,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,144	28,131	32,275	△32,275	—
計	5,290,159	1,085,112	6,375,271	△32,275	6,342,995
セグメント利益	147,949	5,023	152,972	—	152,972

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。